

「JFAアカデミー堺」開校



JFAアカデミー堺の開校式で、入校生たちの激励に駆けつけた佐々木則夫監督ら=堺市堺区のJグリーン堺（山田喜貴撮影）

目指せ「なでしこ」

女子中学生を対象としたサッカー選手育成校「JFAアカデミー堺」が3日、堺市堺区のサッカー施設「Jグリーン堺」内に開校した。入校生12人が緊張した面持ちで臨んだ開校式には、同施設で合宿中の日本女子代表の選手や佐々木則夫監督らも駆けつけ、「なでしこジャパン」を目指す少女たちを激励した。

全国3校目、女子限定は初

アカデミーは、世界に通用するサッカー選手の育成を目的に日本サッカー協会（JFA）が手がけている事業。福島と熊本に次いで3校目だが、女子に限定したアカデミーは初めて。

全国の受験生から1期生として選ばれた12人が入校。Jグリーンで寄宿生活を送りながら市立月州中学校に通学し、放課後などにアカデミーでサッカー技術やリーダー論などを学ぶ。

式では、12人が一人ずつ決意を表明。「東日本大震災後の日本に勇気をくれたなでしこのような存在になりたい」「どんなときも夢を忘れず活動したい」とはつきりとした口調で語った。

式には、佐々木監督をはじめ、堺市出身の阪口夢穂選手や田中明日菜選手らが参加。佐々木監督は「なでしこに入りたい気持ちは今日が一番強いと思う。困難なことがあっても今日の気持ちに立ち返り、上に向いて頑張って」と激励、「待ってますよ」と笑顔で呼びかけた。

同校スクールマスターに就任した川淵三郎・日本サッカー協会名誉会長も「12人の“おじいちゃん”役となって育てたい」と意気込みを語り、堺市の竹山修身市長も「3年間堺で勉強することで堺の土地柄や歴史に親しんでほしい」と話した。